

八尾の民謡詩人

「小谷契月作品集」刊行に寄せて

久泉 迪雄

越中おわら節という誇るべき
伝統行事が富山市八尾町にあ
る。そして、その行事に関わり、
伝承してきた多くの人材がいた
ことは言うまでもないことであ
る。

新刊の「小谷契月作品集」は、
その担い手の代表格ともいっべ
き八尾町の民謡詩人、小谷契月
(1902〜71年)の没後50年

を記念して出版されたものであ
る。未発表作を含む約100編
の詩や短編小説、戯曲などが収
められている。「仏法僧」と題
した民謡集(32年刊)も再録さ
れ、「山の神峠」「時雨雲」
「郭公」「手品師」の4章でま
とめている。

いと糸繰るオワラ露降る
これらの詞句は小谷契月自作
のおわら節である。
「優しい人情、美しい自然の
風物にかもされ、それが永い間
の文化の変遷、民情の推移に培
はれて自ら生まれ出たものこそ
本統の民謡だと思ひます。(中
略)おわら節には、その明確な

いぶし銀の存在 再確認

周知の通り、庶民文芸である
越中おわら節は長い歳月にわた
り、多数の人たちが関わり、こ
れを愛した知名士の往来があっ
た。多彩な人々の存在と業績は、
富山文化の大きな遺産となつて
いる。その集積の中に、民謡詩
人小谷契月のいぶし銀のような
存在を、今回の新著の刊行によ
って再確認できるのは誠にあり
がたいことである。

長男の健二氏監修の下、静岡
県立大の細川光洋教授とおわら
研究者の小松朗氏(東京)が編
まれた。刊行に英知を傾けられ
た人士に敬意を表したい。

(県歌人連盟顧問)

◇

「小谷契月作品集」は桂書房刊、
A5判346ページ、3520円。



小谷契月



「小谷契月作品集」

たすき投げやるオワラ暇がない
井田の川波雪解の早瀬流す浮
き名もオワラ春だより
踊りつかれて編等敷いて草を
枕のオワラ盆の月
聞名寺初夜の鐘まで糸繰り娘

起源を見出し得ないところに絶
対の価値があると共に、三百年
の古い歴史を持つところに尊い
生命があるのであります」とい
う契月自筆のことばの実感にこ
ころが打たれる。